

接続料の算定等に関する研究会 ご説明資料

➤ ビル&キープ方式の導入について

2023年3月7日

アルテリア・ネットワークス株式会社

慎重に時間をかけて検討することが必要

ビル&キープ方式が、音声通信サービス利用者および同サービスの提供事業者の全体利益に叶うかどうかを、現時点で判断することは時期尚早と史料

1. IP網への移行後の、音声通話の総量がどのように推移するかを現時点で予測することが困難
2. 総量のみならず、各事業者において通話量がどのように推移するかを現時点で予測することが困難
3. 事業者ごとに発着のバランスは異なり、網維持コストも異なるため、公平なコスト負担となるかが不明
4. 大規模事業者の意見のみで推進されると、市場の寡占化が進む懸念が存在

つながる地球に、新しい鼓動を。

ARTERIA

本資料に含まれる全てのコンテンツの著作権およびその他の権利は当社または当社に権利を許諾した権利者に帰属します。
当社または権利者の許諾を得ず、本資料を複製・転用・目的外利用することは固く禁じます。